

特集

プロスポーツと災害と地域貢献

仙台89ERS 代表取締役社長 志村 雄彦 氏

仙台89ERSは、バスケットのプロスポーツBリーグに所属し、仙台、宮城をフランチャイズに活動しています。2004年設立後の2011年3月11日に発生した東日本大震災によりクラブチームは活動中止になり、当時の選手はレンタル移籍により全国各地でプレーを続けていました。そのような中でも、仙台89ERSの復活を目指し全国各地で運動を続けておりました。震災前から市民、そして県民の皆様を支えられて活動して来ましたので、地域への思い入れは強く、震災後はさらに地域の皆様と共に、この仙台、宮城を明るくしたい、豊かな街づくりに貢献したいとの思いで、さまざまな活動を行ってきました。

今回、令和3年11月22日に行われました“市民公開講演会”において講演をいただきました内容をご紹介します。



震災発生後の地域活動

被災地の子どもたちをホームゲームに招待

仙台市体育館で日曜に開催しているホームゲーム(年間7試合)に、被災地の子どもたちを招待しました。

震災後の地域活動 (南三陸町との取り組み)

公式戦の開催

トレーニングキャンプ2018in南三陸

企業理念・クラブ理念として、「バスケットボールを通じて、豊かな社会づくりと元気な仙台の街づくりに貢献する。」「バスケットボールを通じて、世界にポジティブな影響を与える。」としている。

企業理念・クラブ理念、ビジョン

株式会社仙台99ERS 企業理念

バスケットボールを通じて、豊かな社会づくりと元気な仙台の街づくりに貢献する

仙台99ERS クラブ理念

バスケットボールを通じて、世界にポジティブな影響を与える

ビジョン

3年でG1優勝します(2022-23シーズン)

「日本一強くて愛されるクラブ」になります

NINERS HOOP

クラブの経営者として地域の課題に対してプロスポーツクラブとしてポジティブなメッセージを伝えていきたい。生まれ故郷である、仙台・宮城に恩返しをしていきたい。バスケットボールを通じて人の「和」を伝えていきたい。

震災から10年となり、「NINERS HOOP」と銘打ち、ナイナースがつなぐ「地域」と「未来」というコンセプトのもと、地域のため、未来をにやうこどもたちのために、さまざまな活動をスタートさせました。その中に国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」にも、積極的に取り組んでおり活動の一部を紹介します。

B.Hope HANDS UP! PROJECT supported by 日本郵便

バスケットボールを通して楽しく、防災・減災を学ぶ「防災バスケ」プログラム。プロダクティビティにおいて大事なこととバスケの楽しさを融合させたこのアクションを通じて「見える人・聞ける人・助ける人」を育てることを目的としたプログラム。震災時に必要な備蓄品を学ぶゲームでは、ドリブルをして、女性・高齢者・乳幼児などのコーナーに、それぞれに合う備蓄品名が書かれたカードを投げる。備蓄品は年齢や性別により必要なものが異なるということを理解するためのゲームと運動して行っています。

NINERS HOOP TOUR 2020-21 ナイナースがつなぐ「地域」と「未来」

＜主な活動内容＞

①NINERS HOOP TOUR - ナイナースみやびやまわります -

- 仙台市内での非接触試合(2試合)
- 宮城平野市街村(長町、塩釜、石巻市、加美町、黒川町、黒川町、黒川町)
- 一宮市内の商業施設に寄贈するSDGs関連品(特産品・名産物のPRなど)を行います

愛バスケットボールを通じたこども向け活動

- こども向けバスケットボール教室・大会の開催
- 大会試合が中止となった中学校 3年生引退試合の支援
- 試合開催地域でこども向けバスケットボール教室の開催
- バスケットボール競技者へのホームランサポートプロジェクト

開催地	開催日	開催内容
仙台	10/10	仙台市内での非接触試合(2試合)
宮城	10/11	宮城平野市街村(長町、塩釜、石巻市、加美町、黒川町、黒川町)
一宮	10/12	一宮市内の商業施設に寄贈するSDGs関連品(特産品・名産物のPRなど)を行います
仙台	10/13	こども向けバスケットボール教室・大会の開催
仙台	10/14	大会試合が中止となった中学校 3年生引退試合の支援
仙台	10/15	試合開催地域でこども向けバスケットボール教室の開催
仙台	10/16	バスケットボール競技者へのホームランサポートプロジェクト

ナイナースがつなぐ「地域」と「未来」

仙台99ERSが作りた世界観

地域の課題に対して

A collage of images showing various community activities and the NINERS HOOP logo. The images include people working together, a cityscape, and a group of people holding a banner.

NINERS HOOP SDGsについて

2020-21シーズン、東日本大震災から10年の節目に、仙台地区は『NINERS HOOP』と結び、ナイナースがつなぐ「地域」と「未来」というコンセプトのもと、地域のため、未来のために、子どもたちのために、さまざまな活動をスタートさせました。そして2021-22シーズン、『NINERS HOOP』をさらに拡大させるべく、国連が定めた持続可能な開発目標『SDGs』にも、クラブチームとして取り組んで参ります。『SDGs』の活動をクラブが積極的に取り組むことでSDGsがより身近な存在となり、皆さまとともに活動していくきっかけになればと思っています。

ナイナースが“つなぐ”「地域」と「未来」の活動として、「空飛ぶ絵本」「ボール寄贈プロジェクト」「足こぎ車いす寄贈プロジェクト」「キッズドリームクリニック」「イエロープロジェクト」「ぼくらの長町黄援隊」を行っています。

空飛ぶ絵本

ホームゲームで仙台89ERSが勝利したら、片岡大輝選手が毎試合絵本をプレゼント！絵本を通じて、親子の時間を創出し、子どもたちの夢を後押しし、明るい未来へつなぐきっかけを作りたい！という片岡選手の発案です。

NINERS HOOP ボール寄贈プロジェクト

仙台89ERSでは地域に密着したホームタウン作りを進めるため、バスケットボールを通じて、豊かなスポーツ文化の創出、健全な青少年の育成、地域住民の心身の健全な発達に資する取り組みを行っています。このような活動展開にご賛同いただいた企業様とともに、これからの社会をいかにスポーツに結び、子供達への活動をサポートしていきたいという思いも「ボール 寄贈プロジェクト」を行っています。

足こぎ車いす「COGY」寄贈プロジェクト

仙台89ERSがホームゲームで90点以上の得点をして勝利した場合は、株の不自由なお子様にご賞品「COGY」を選手から寄贈させていただきます。ナイナースの勝利がたくさんの笑顔につながりますように。

キッズドリーム クリニック

コロナウイルスの影響で中絶体が中止となってしまった子どもたちへ地元のプロチームとしてできることをバスケットを高校でも続けてもらうきっかけ作り！仲間との思い出の場を提供する！！

NINERS HOOP YELLOW PROJECT

ナイナースの活動拠点と長町のアリーナ敷地内に、11月21日に子供たちと一緒にナイナースイエローのカラーリングの植栽を植えます。プレーオフの場にはアリーナ周辺をナイナースイエローに染めようという企画です。NINERS HOOP の一環で地域の子どもたちとともに、秋も楽しんでください。

NINERS HOOP YELLOW PROJECT

「バスケットのまち創り」を目標とする仙台89ERSは、街をチームカラーのナイナースイエローに染める「イエロープロジェクト」を通して、様々な企画で地域と連携しております。

今シーズン最初の「イエロープロジェクト」開催日、志村社長が先ずと長町のスポーツパーク内に「優勝・勝利」を祝って金木犀の木を植栽しました。金木犀加リーグが開催する3月頃にナイナースイエローの花を咲かせます。金木犀の香りが花をどこかで見たときに、皆さんがナイナースを思い出した瞬間が、いよいよ開幕するなと思いついてくださることを願っています。

「ぼくらの長町黄援隊」

仙台89ERSと一緒に長町地域盛り上げるとともに、自分たち地域に愛着を持ち、主体的に地域をよくしていくという行動できるこどもの育成を目指す活動としてしています。

そして、この活動を継続することで、SDGsの17項目の目標の中の、「真の美しい国をみんなが『働きがいも経済成長も』『富強な国づくりもつくりも』『パートナーシップ目標を達成しよう』」にも関わっていきたくて思っております。



NINERS HOOP GAME

「未来を担うこどもたちのために」に開催したのが、この「NINERS HOOP GAME」です。「地域」をつなぐ活動として、昨シーズン宮城県各地で試合を開催をさせていただきましたが、

試合を開催させていただいた地域のこどもたちを中心に、ゼビオアリーナ仙台で開催するホームゲームに招待し、仙台89ERSの試合前にエキシビジョンゲームを実施。これまでもプロ選手と同じコートでの試合観戦の提供としてエキシビジョンゲームを行ってまいりましたが、この「NINERS HOOP GAME」は、参加していただくこどもたちの思い出に繋がる特別な体験をしていただくために開催いたしました。

NINERS HOOP SDGs

スポーツ庁の掲げるSDGs

スポーツで人生を変える、スポーツで社会を変える
スポーツで世界とつながる、スポーツで未来を創る

スポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活を通りながら社会の課題を解決する。そして国境を越えた絆を育むことで、世界とも人々もつながっていき、そんな社会の実現は不可能ではないと言われています。スポーツを通して行われる、次世代の豊かな社会づくり、それが2030年に掲げたSDGsです。

仙台89ERSとして

これからも、地域のみなさまと
共に活動してまいります

これからも皆様とともに地域に根差した活動を行なっていきますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。

お願いします友だちになってください。

仙台89ERS LINE@
友だち募集中。
@sendai89

うれしい情報お届けします!